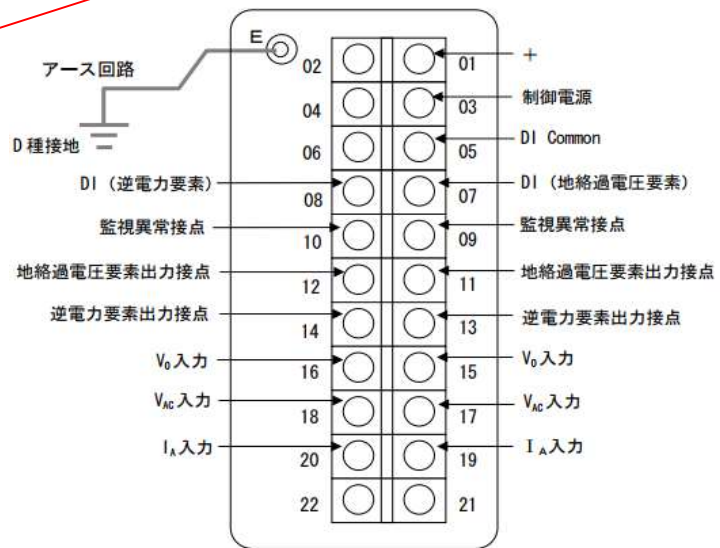
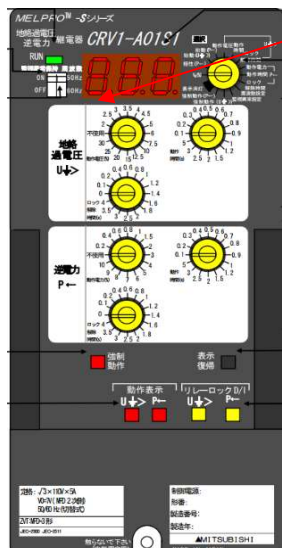


# 逆電力継電器 RPR 試験方法 (単相)

試験電流がmA単位と小さいので注意、試験器によっては外部デジタル電流計を使用する。

三菱電機 CRV1-A01S1 注意 (地絡過電圧要素をロックにする) 2.位相特性試験



配線養生 電源 ① ③ 電流 ⑱ ⑳ 電圧 ⑰ ⑱ 接点 ⑬ ⑭

## 1.最小動作試験

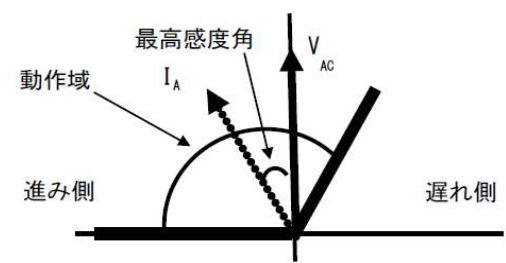
- 1 試験器の補助電源、電流、電圧、接点ケーブルを極性に合わせて接続
- 2 電圧出力は、定格電圧 110 V に調整
- 3 位相は進み30° (最高感度角) に調整
- 4 最小動作値を確認

RPR 整定 (%)	0.2	0.4	0.6	0.8	1	1.5	2	3	4	5
電流 (A)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.05	0.075	0.1	0.15	0.2	0.25

RPR 整定 (%)	6	7	8	9	10
電流 (A)	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5

※試験時は電流の位相は最高感度位相角方向 (電圧に対し進み 30° ) にて実施ください。  
電圧は 110V 固定にて実施ください

- 1 電圧出力は、定格電圧 110 V に調整
- 2 電流は、整定値の200%
- 3 位相動作値を確認
- 4 進みLead 90° ± 5° 遅れLag 30° ± 5°
- 5 最高感度角 進み30° ± 5°



## 3.動作時間特性試験

- 1 動作電力整定値を0.2%にする
- 2 電圧出力は、定格電圧 110 V に調整
- 3 試験電流は、整定値の200%
- 4 位相は進み30° (最高感度角) に調整
- 5 試験電流を0%から200% に急変させ動作時間を測定する。 整定で設定し試験